

## つきたい力

- ・興味関心を広げ、自ら本を選び、読み進める力
- ・目的に応じて必要な情報を読み取る力
- ・読み取ったことをまとめ、自分の考えを整理し、発信できる力

## 取組みの概要・ポイント

- 並行読書材を活用した、児童の目的意識を明確にした言語活動の設定
- 学習に関連した図書を身近に感じる環境づくり

取組みの紹介は  
こちら



## 指導のねらいにせまる魅力的な学校図書館の活用

### ○魅力的な言語活動の設定

- ・1年生国語「サラダでげんき」→食育につなげ、生活で「サラダにもう一品」を考えるために図書資料を活用。
- ・2年生国語「ビーバーの大工事」→図鑑や本を活用し、動物の「ここそゴ！カード」を作成。
- ・3年生国語「サーカスのライオン」→並行読書で物語を読み、自分が好きな中心人物の変化を紹介。
- ・4年生社会「くらしとごみのしまつ」→調べ学習から「自分たちにできること」をポスターで作成し発信。
- ・5年生国語「注文の多い料理店」→同じ作者の作品の「おもしろさのひみつ」を解説文に表現。
- ・6年総合「平和学習」  
→「平和の大切さ・戦争の恐ろしさ」を絵本の紹介を通して発信。

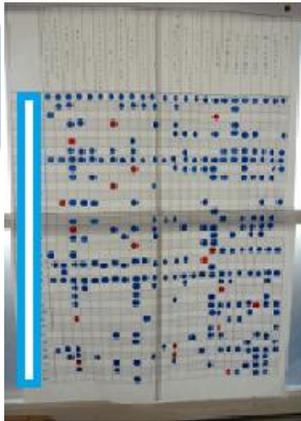


- ・教科書教材で学んだことを、自分で選んだ本の読みに適用し、理解を深める。
- ・成果物を発信することで学習意欲や達成感を高める。

### ○並行読書マトリックスの活用

- ・単元の並行読書材で「読んだ本」を可視化。
- ・表を参考に、自分と似た(違った)テーマを選んだ友だちと交流し、次に読む本を決定。

- ・交流相手を選ぶために情報を選択
- ・必然的に複数の本を読むしかけ



## 積極的に情報発信する学校図書館機能の充実

### ○学習関連本との出会い

- ・ブックラックを活用した廊下への配架
- ・単元導入時に関連本を読む時間を設定
- ・教科書教材に関連するブックトークの実施
- ・学習の成果物を図書室前に掲示し関連本を配架
- ・市内物流便を活用し、1人1冊以上の本を整備
- ・教科書にでてくる筆者の写真と本を廊下に展示

- ・ブックトークで紹介された本を借りる児童
- ・他学年の成果物を興味をもって見る児童
- ・自主的に図書資料を活用し調べ学習に取り組む児童

### ○児童主催の学校図書館イベントの実施

- ・読書福袋  
→紹介カードを添えたおすすめの本を見えないように包んだ福袋
- ・読書ビンゴ  
→新しい本との出会いのための読書リストが書かれたカード
- ・読書クイズの掲示  
→本を読むと答えがわかるクイズを本とともに展示
- ・本のおススメ紹介  
→図書委員がおススメカードを本に貼り、掲示

- ・図書委員が紹介した本の貸し出しが増加し、普段読まない本と出合う児童が増えた。



#### お花クイズ

カエデの仲間の実は、プロペラのような形ですが、二つに分れます。どちらのほうが長く飛べますでしょうか？  
カエデの実は高い所からおすとプロペラのようにくるくる回ってゆっくりおちていくのはお花クイズの答えです。お花クイズの答えをよんでみるのがおすすめです。



1 プロペラを半分に割っていない、そのままのもの



2 プロペラを半分に割ったもの

カエデの実は半分にならないとくるくる回って落ちないんです。なぜ落ちないのかはぜひ調べてみてください！  
図書委員会

## 取組みを通しての子どもの変容

- ・学校図書館活用に関わるアンケート数値の向上。(右記表を参照)
- ・教科書教材には取り組みにくかった児童が、関連図書での調べ学習に意欲的に取り組んでいた。
- ・「次はどんな本で勉強するの?」と学校図書館活用の学習を楽しみにしている様子が見られるようになった。

	3月 (昨年度)	7月	12月
家で30分以上読書をすることがある	50%	54%	56%
学校図書館での学習や、本や資料を使って調べるときは楽しい	66%	74%	78%
わからないことがあったときや不思議に思ったとき、自分で調べるなどしていますか	68%	75%	80%